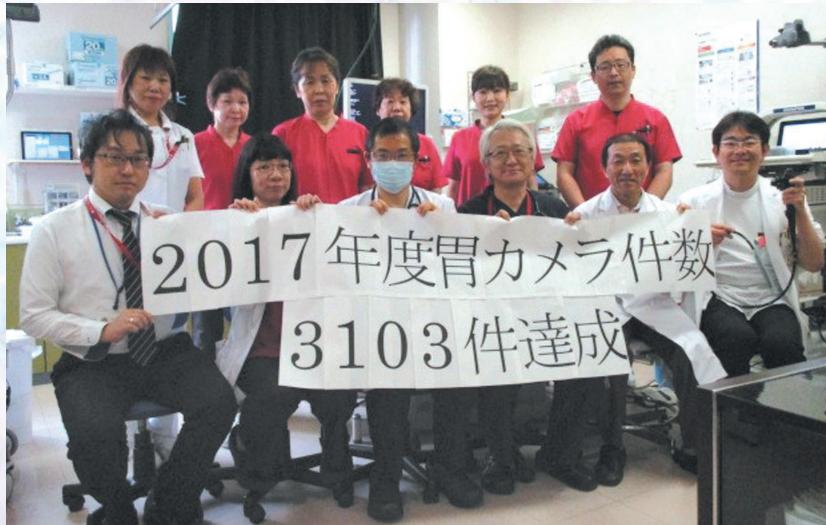


# 高松平和病院ニュース

〒760-8530 高松市栗林町1-4-1 TEL.087(833)8113(代表) HPアドレス：<http://www.t-heiwa.com/>  
発行責任者：高松平和病院 院長 蓮井宏樹 編集：広報委員会 発行年月日：2018年7月10日

## 2017年度胃カメラ検査3103件新記録達成！



当院での胃カメラ検査は経口・経鼻を希望に応じて選択出来ます。また苦痛が少なく検査が受けられる、鎮静剤を使用しての検査も行っています。(鎮静剤使用の場合には検査当日に自動車・バイク・自転車の運転は御遠慮ください。)

胃カメラ検査の需要は年々増加しており、今年度より月・水・金曜日には2診体制での検査を行っています。また土曜日の胃カメラ検査も第1・第2・第3土曜日に検査を行う事で皆様の需要にお応えしています。

2013年3月より慢性胃炎や十二指腸潰瘍などの疾患の場合にはピロリ菌除菌が保険適用になりました。検査を受けて頂いている皆様には検査前にピロリ菌検査歴・除菌歴等の確認をさせて頂き、ピロリ菌感染の疑いのある方には検査をお勧めして

います。またピロリ菌感染がある場合には除菌(3種類の内服薬を1週間飲みます)をお勧めし、胃がんのリスクの軽減を行っています。また、増え続ける大腸癌を予防する為、大腸カメラも月・火・水・金曜日に行なっています。

内視鏡室スタッフは検査に伴う苦痛を少しでも緩和できるように背中を擦ったり、声掛けなどを行い苦痛の軽減に努めています。

何も症状が無くても年に一度は検査を行う事で病気の早期発見・早期治療に繋げられます。

内視鏡室スタッフ一同でみなさまの検査をお待ちしています。

年度別胃カメラ検査件数の推移



高松平和病院  
理念

1. 患者の権利を守り常に信頼される医療を提供します。
2. 健康づくり、明るく安心して暮らせるまちづくりに貢献します。
3. 平和と医療、福祉を守ります。



# ミニコンサート開催

先日の夕方、リハビリテーション室でミニコンサートをしました。内容は、イタリア歌曲やオペラ、日本歌曲を中心に数曲披露しました。

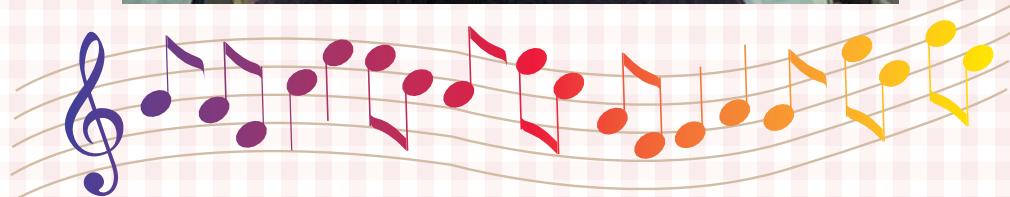
メンバーは音楽大学を卒業後、作業療法士を目指し専門学校に通う学生と、声楽を学ぶ高校三年生の娘の歌に、私がピアノ伴奏をしました。ちなみにその学生さんは、当院で毎週水曜、肩関節専門で診療していただいている先生の娘さんです。大学卒業後音楽家の道からは身を引きましたが、たまには歌ってみる？と声をかけたのがきっかけで一緒に演奏するようになりました。

演奏を聴いて涙ぐんでおられた患者さまもおられ胸があつくなりました。また思いがけずアンコールをいただき、驚くやら嬉しいやらで、感謝の気持ちでいっぱいです。最後は真鍋先生のサプライズ登場で締めていただき、無事に終演しました。

今後もミニコンサートをやりたいと思います。一緒に演奏していただける方も募集中です！

出前コンサートもやりますので、ご希望があれば声をかけてくださいね。

(リハビリ科 石井)



# 第19回日本死の臨床研究会 中国・四国支部大会

5月13日に山口県周南市の徳山中央病院で第19回日本死の臨床の研究会 中國・四国支部大会が「つなげる～つながる こころのケア」をテーマに開催されました。一般演題17演題の発表と特別講演「がんフーフー日記」著者であるフリーライターの清水浩二さんの『「続していく物語」生きた証しを遺すということ』がありました。当院から緩和ケア認定看護師の山本主任が第1セッションの座長を務め、私が「終末期がん患者せん妄ケアに影響する看護師の意識の志向性」について演題発表を行いました。

午前中の一般演題では、在宅症例においてのアドバンスケアプランニングについての考え方や実施、スピリチュアルペインについてなどがあり、活発な意見交換ができました。午後からの清水さんの講演では、直腸がんで闘病中の妻と病状を友人たちに報告するために、夫婦2人で共有ブログを開設しありのままを綴られたことが報告されました。そしてそのブログは2年後に「がんフーフー日記」と題して書籍化されました。講演内容は最愛の人を亡くした後のグリーフケアの必要性でした。清水さんは書籍化にあたり、書くことで自身の思いが整理され、それこそがグリーフワークであったと話をされました。病棟では残された家族様と関わる機会が少ないです。今回の講演を聞き、残された家族様がどのような思いで気持ちを整理していくのかを学ぶことができました。そして残された家族の悲嘆が、回復できるように入院期間中からグリーフケアを行うことの重要性を感じました。

今回、私が発表した演題は、患者様のこころの苦しみに対して薬の使用だけでなく、看護師がその苦しみに寄り添うことで、苦しみが軽くなることを研究しました。発表をとおして日頃自分の思っていること、考えていることを言葉にし、伝えていくことの難しさも学びました。これからも、患者様の苦しみのサインに気づき寄り添った関わりをしていきたいです。

(緩和ケア病棟 看護師 松本)



# 外壁修繕工事が完了しました

2018年2月より外壁修繕工事を開始し、当初の予定より工事期間が延長しましたが、6月19日に無事完了いたしました。



工事期間中、患者様・利用者様・周辺住民の皆様には騒音や通行など、大変ご迷惑をおかけいたしました。今後とも、よろしくお願い申し上げます。

## 職場紹介

### 薬剤科

みなさん、こんにちは。

高松平和病院薬剤科です。部署は病院入口から入って左側にあります。

外来では、ほとんどの患者様が外の薬局からお薬を受けています。

私たちは、入院患者様への飲み薬や注射剤を提供して、お薬の相談をいろいろ伺ったりしています。

でも、入院患者様に限らず、退院後も当科を訪れて、お薬だけでないことも相談される患者様も沢山います。内容はさておき、退院後も元気なお顔を拝見できることは、とても嬉しいことです。遠慮なく気楽にたずねて頂ければ幸いです。

こうして、地域の患者様と一緒に毎日を過ごして、地域発展に貢献できるよう努めています。

